

研究だより



せらにし小学校研究部
令和2年 1月29日

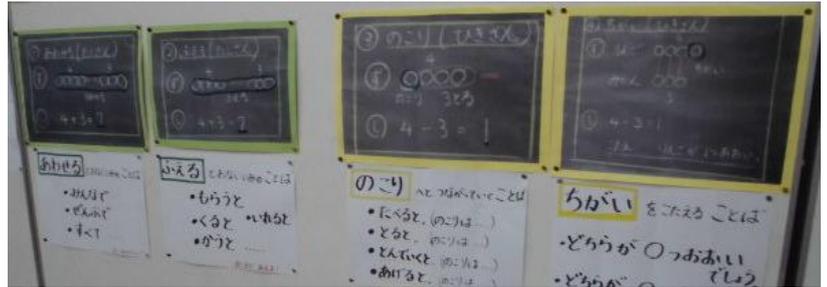
No.10

12月17日(火)は、第6回目の授業研究(第1学年「ひきざん～あかねさんの日きをよんでかんがえよう～」)がありました。授業研究を振り返り来年度の研究に活かしていきましょう。

☆研究討議より

【成果】

- ・児童が落ち着いて学習していた。
- ・問題提示に口や○を用いたり、情報過多の問題を提示したりすることで、本校の課題に向けての授業提案となった。
- ・児童が問題を図に表し解決しようとして取り組んでいた。
- ・児童が自分の言葉でまとめを考えていた。
- ・ペア学習や説明しようという活動に対して意欲的であった。
- ・児童の発言を聞き、学習を深めていくためにキーポイントとなる言葉や数字にこだわり問い返しをしていたのが良かった。
- ・困っている児童に対して何に困っているの?など聞き出し、図や言葉での支援をしていた。
- ・自力解決の机間指導時に指導者が指導を入れすぎてしまい児童がそこで修正をしている。



【課題】

- ・ペア学習で何を話し合わせるのか、何を考えるのかなど、意図をもって活動を仕組んでいかななくてはいけない。
- ・2段階の問題を解くときに自力解決に時間をかけているうちに、つまづいているところがずれてくるので集団解決する段階で思考をそろえるようにしていかななくてはいけない。
- ・図と言葉と式を関係づけて考えることができるように日頃から取り組む必要がある。
(「5は図で言うとどこかな?」「この図のこの部分が残った所で、この全部をお母さんが食べたんだからお母さんは5個食べたことになる。」)
- ・自力解決の机間指導時に指導者が指導を入れすぎてしまい児童がそこで修正をしていた。本校の目指す授業では、集団解決の学び合いが深まることを目指しているため、支援の在り方を考えていかななくてはいけない。
- ・児童が間違いを消しゴムで消し直している。間違いは、消さないで残し修正する習慣をつけていかななくてはいけない。



「せらにし小学校の授業改善ポイント」

- ①児童が授業のゴールイメージをもっています。
- ②児童が、自分の考えをもち表現しようとします。
- ③児童が、授業で学んだことを表現します。